

須賀川市立義務教育学校「稲田学園」学園だより

と う ん
稲雲

令和7年5月1日発行

令和7年度 第2号

発行者：校長 田中 朗裕



○授業参観・PTA 総会・学年懇談会 お世話になりました

4月18日（金）に、今年度第1回の授業参観を実施しました。多くの保護者の皆様に児童生徒の学校生活や授業中のがんばる様子を見ていただくことができたことを嬉しく思います。保護者の皆様が、教室の後方や廊下からお子様を温かく見守る様子も印象的でした。また、授業参観後の PTA 総会と学年懇談会にも多くの皆様のご出席をいただいたことにも感謝しております。PTA 総会では、校長から「児童生徒、そして保護者の皆様も『チーム稲田学園』の一員であると考えていること、チームが一丸となって子どもたちの心身の健やかな成長を支えていきたい。」という思いを伝えさせていただきました。今年度1年間、「チーム稲田学園」にお力添えをどうぞよろしくお願いいたします。



○「1年生を迎える会」を実施しました!!

4月21日（月）に「1年生を迎える会」を実施しました。6年生が中心となって会の運営を行い、温かく、素敵な会になりました。1年生が入場後、2年生から手作りのメダルが贈呈され、代表児童が「歓迎の言葉」を述べました。交流タイムでは、各学年の児童が様々な工夫を凝らしながら、楽しく、そして丁寧に学校生活や先生方などについて教えてあげる姿も見られました。

最後に、1年生の代表児童もしっかりとお礼の言葉を述べることができました。

また、前期課程の最上級生として、6年生が自覚ある行動をとったり、リーダーシップを発揮したりする場面が多く見られ、今後の様々な行事も充実したものになると強く感じました。156名の前期課程の児童全員が仲間になり、安全で楽しい学校生活を送ることを願っています。



○修学旅行に行ってきました!!

4月22日(火)～24日(木)まで、9年生が2泊3日で大阪・京都方面に修学旅行に行ってきました。1日目は、大阪・関西万博と北野天満宮の見学をしました。2日目は、京都市内の班別自主研修を行い、京都駅から電車で大阪のユニバーサルシティ駅まで移動しました。最終日は、USJ(ユニバーサル・スタジオ・ジャパン)で過ごし、午後9時頃に学校に到着しました。

4月25日(金)の解団式では、実行委員長や代表生徒から、旅行の振り返りとして、「できたこと」や「今後につなげていきたいこと」、「計画の大切さ」と「臨機応変な対応の必要性」を感じたという言葉聞くことができました。

3日間の修学旅行を通して、9年生の大きな成長を感じることができました。今回の旅行を通して身に付けたことや感じたことが今後の学校生活をより充実させることを期待しています。



○「感動の演奏」に向けて猛特訓中です!!

5月17日(土)の運動会、21日(水)の須賀川市の「交通安全鼓笛パレード」に向けて、5・6年生が鼓笛の猛特訓中です。昨年の鼓笛パレードの後に、稲田小学校を卒業された方から感謝のお手紙をいただいたように、今年も5・6年生のがんばりで聞いている人たちを感動させる演奏になると嬉しいと思います。



随 想

「教師としての心構え」 ～初任者研修を通して～

今年度、本校に新採用の先生がいます。その先生の「初任者研修」として、私が「教師としての心構え」という研修を担当しました。その研修を通して、自分が30数年前に初めて教壇に立ったときのことを思い出しました。私が教師を目指す大きなきっかけとなった言葉があります。「教師は自己否定的な職業である。」という言葉です。普通は自分ががんばって働いて結果を残せば、会社の中で、自分がどんどん必要不可欠な存在になりますが、教師の仕事はそうではないという意味の言葉でした。教師ががんばると、子どもたちはどんどん成長し、やがて教師の力を借りなくても、自分の力で生きていけるようになり、教師は必要なくなるということです。当時の私にとっては衝撃的な言葉でしたが、それまで抱いていた教師という仕事の魅力が、私の中で一気に大きくなったことを覚えています。だから、教師になってからずっと「先生のいないクラスを作りたい。」「子どもの成長をそばで見守りたい。」という思いをもっていました。教師は何もしないのではなく、子どもが自ら学び、自分の力で生きる力を身に付けられるよう、そっと導いたり、信じて任せたり、敢えて手を貸さなかったり…。そうやって成長する子どもを見るのは本当に楽しいことであり、子ども一人一人はそういう力を秘めているとも思っています。